

# SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信/海外/株式

## 交付運用報告書

第26期(決算日:2020年6月4日)

作成対象期間(2019年12月5日~2020年6月4日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2020年6月4日に第26期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第26期末(2020年6月4日)

基準価額	8,346円
純資産総額	6,946百万円
第26期	
騰落率	△19.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の 9:00~17:00

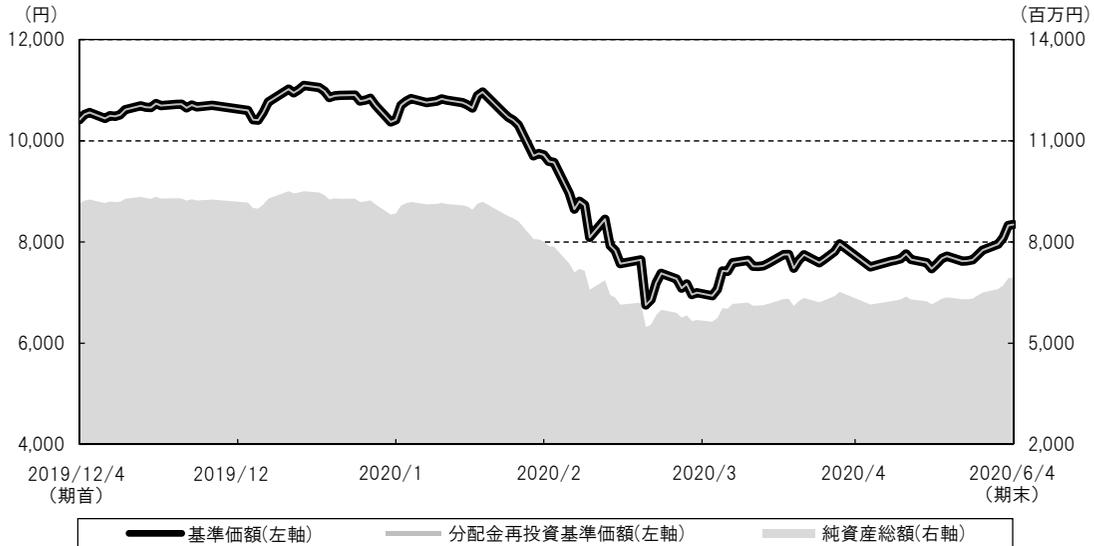
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2019年12月5日～2020年6月4日)



期 首：10,416 円

期 末：8,346 円 (既払分配金(税込み):0 円)

騰 落 率：△19.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年12月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、米中通商協議の進展期待や「第1段階」の合意により、期初から2020年1月中旬にかけては、インド株式市場が過去最高値を更新する展開が続き、また、ベトナム株式市場もおおむね堅調に推移しました。しかしながら、その後は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて下落基調に転じました。

2月以降は、インドの2020年度予算案の歳出規模が市場予想を下回ったことや、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、インド市場の下落基調が継続しました。また、ベトナム市場についても、外国人投資家の売りが加速したことから、大幅に下落する展開となりました。その後、翌3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な株安や都市封鎖などを受けて急落しました。3月下旬以降は、各国が景気刺激策を導入し世界の株式市場が上昇するなか、インド株式市場、ベトナム株式市場ともに反発基調が継続しました。

5月以降は、インド株式市場は都市封鎖の延長を受けてやや軟調に推移した一方、ベトナム株式市場は都市封鎖の緩和により経済活動が再開され、景気回復が見込まれるなか、堅調推移となりました。当ファンドの決算日である6月4日の基準価額は8,346円と、期を通じて△19.9%の下落となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月5日～2020年6月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	100	1.100	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	( 61)	(0.671)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	( 35)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.063	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
（株 式）	( 6)	(0.063)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.046	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
（株 式）	( 4)	(0.046)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.096	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	( 7)	(0.075)	保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	( 1)	(0.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	( 1)	(0.006)	インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	119	1.305	
期中の平均基準価額は9,075円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

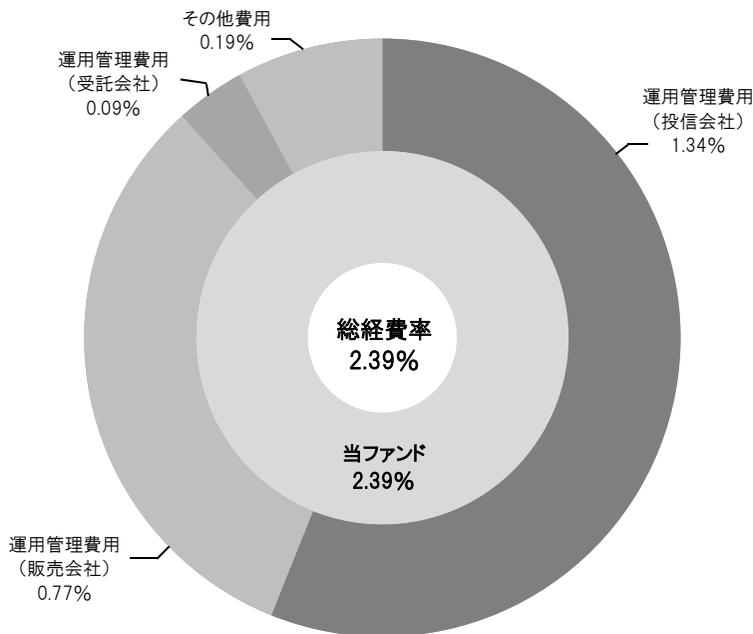
(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

**(参考情報)****○ 総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.39%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

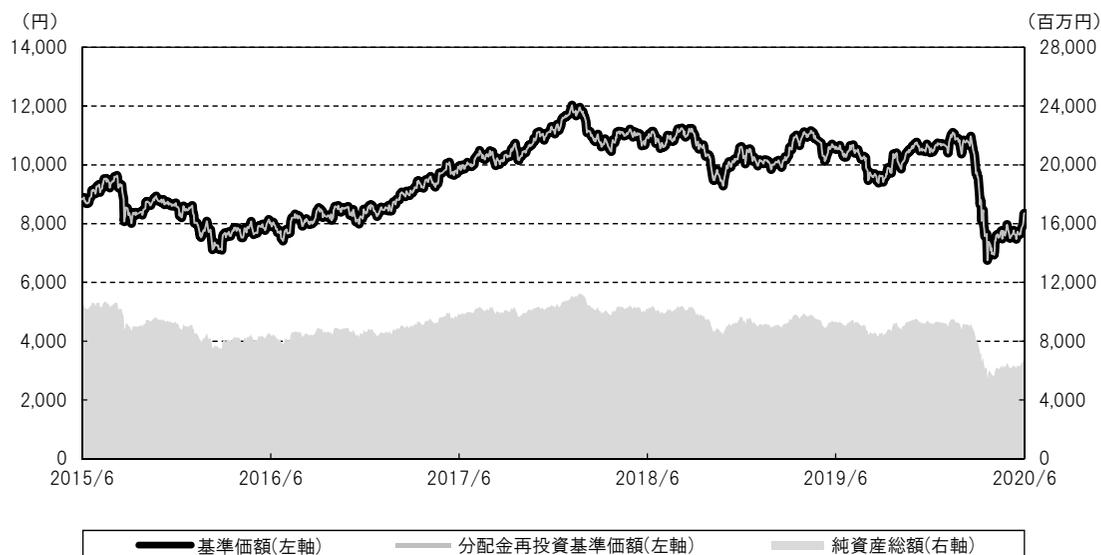
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年6月4日～2020年6月4日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年6月4日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年6月4日 決算日	2016年6月6日 決算日	2017年6月5日 決算日	2018年6月4日 決算日	2019年6月4日 決算日	2020年6月4日 決算日
基準価額 (円)	8,824	7,901	9,887	10,963	10,617	8,346
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	28.0	△ 10.5	25.1	10.9	△ 3.2	△ 21.4
SENSEX 指数騰落率 (%)	21.6	△ 18.3	26.0	7.4	8.8	△ 21.8
VN 指数騰落率 (%)	20.7	△ 7.8	21.3	31.6	△ 8.6	△ 4.9
純資産総額 (百万円)	10,390	8,317	9,799	10,233	9,332	6,946

- (注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドでは SENSEX 指数<sup>※</sup>、ベトナムでは VN 指数<sup>※</sup>を記載しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- ※各指数は円建て

## ●代表的な指数に関して

- ・SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する30銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。
- ・VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

**投資環境**

(2019年12月5日～2020年6月4日)

**○インド株式市場**

(2019年12月)

・米中通商協議の進展期待が高まったことなどから、投資家のリスク選好姿勢が強まり、年末にかけて上昇基調が継続し、2019年の過去最高値を更新しました。

(2020年1月)

・米中通商協議の「第1段階」の合意などを受けて過去最高値を更新しましたが、下旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて下落基調に転じました。

(2月)

・2020年度予算案の歳出規模が市場予想を下回ったことや、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、下落基調が継続しました。

(3月)

・新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な株安やインド全土の封鎖を受けて、急落しました。

(4月)

・インド国内での新型コロナウイルスの感染拡大は続いたものの、3月下旬以降の反発基調が継続し、大幅高となりました。

(5月)

・海外市場の上昇により堅調に推移したものの、都市封鎖の延長を受けて中旬以降は軟調な展開となりました。

**○ベトナム株式市場**

(2019年12月)

・米中通商協議の進展期待により世界の主要な株式市場が上昇するなか、外国人投資家が大型株を売り越したことにより、小幅に下落しました。

(2020年1月)

・旧正月の休暇を控えて堅調推移となったものの、中国における新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、月末にかけて急落しました。

(2月)

・新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、外国人投資家の売りが加速したことから、大幅に下落する展開となりました。

(3月)

・ベトナム国内において新型コロナウイルスの感染が拡大したことから、外国人投資家からの資金流出が止まらず急落し、月間では2001年以来となる最も大きな下落率を記録しました。

(4月)

・各国が景気刺激策を導入し、世界の株式市場が上昇するなか、国内投資家の買い越しにより、大幅高となりました。

(5月)

・都市封鎖の緩和により経済活動が再開され、景気回復が見込まれるなか、堅調推移となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2019年12月5日～2020年6月4日)

## ＜当ファンド＞

「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」といった各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## ＜ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は97.7%となっております。

## ＜LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は95.6%となっております。

## ＜SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね65%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は70.0%となっております。

## ＜SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)＞

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性及び流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式等の組入比率に関しては、おおむね85%以上の組入比率を維持しました。期末の株式等の組入比率は98.3%となっております。

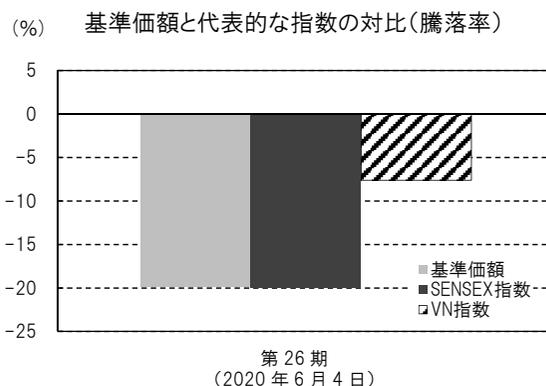
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年12月5日～2020年6月4日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用していません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数<sup>※</sup>、ベトナムでは VN 指数<sup>※</sup>を記載しております。

※各指数は円建て



## 分配金

(2019年12月5日～2020年6月4日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかつた利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第26期
	2019年12月5日～ 2020年6月4日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,292

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいります。

### <ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

インド政府は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、インド準備銀行による流動性供給や信用保証を含む、20兆ルピー規模(GDPの10%相当額)の景気刺激策を発表しました。また、2020年度における財政支出はおよそ2兆ルピー前後(GDPの1%相当額)の見込みです。具体的には、インド政府は、中小企業(信用保証スキーム)、ノンバンク、不動産業者に対する政策支援を表明しています。なお、事業者に対しては、直接税に関する一部の規制緩和も公表されました。政府は、鉱業、防衛産業、民間航空事業者、電力、社会インフラ、航空、原子力エネルギーセクターに関して、立法や行政改革も行う方針です。

新型コロナウイルスは潜在需要や供給のダイナミクスに影響を及ぼしており、インドの経済や企業収益に悪影響を与えるとみられています。インド企業による2020年1-3月期業績については、今後の収益が大きな変動を伴って減少することが示唆されており、2021年3月期の予想1株当たり利益の増減は前年比で2桁の減少になると見込まれています。

インドでは都市封鎖が緩和されたとは言え、経済活動の大部分が危険区域に入っていることを踏まえると、ソーシャル・ディスタンス(社会的距離の確保)により工場生産における増産には長い時間を要し、労働力の活用には大きな課題を抱える中で政府の積極的な支援余地は限られ、全体的には企業による設備投資の伸びが弱含むことから、景気回復は緩慢になる可能性が高いでしょう。一方、大規模な金融政策による下支えに加えて、地方経済を守るための農業収入の保証といった政策措置は、景気回復にプラスの作用をもたらすとみられています。我々は、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を続けることが収益機会を得る最良の方法だと考えています。

### <LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界第5位の経済大国であるインドは、「真の」新興市場です。一人当たりGDPは約2,000ドルですが、急速に成長しています。健全な民主主義や効果的な政策、好ましい人口動態、及びマクロ経済のファンダメンタルズ(基礎的条件)の改善は、インド経済と株式市場の見通しを長期的に下支えています。我々は、引き続きインドには長期的な投資機会があり、質の高いインド企業は魅力的な投資先と考えています。

我々の短期的な投資戦略は、インドの長期的な成長見通しを捉えるものになっています。引き続きボトムアップ・アプローチにより質の高いインド企業への長期投資に注力する方針です。

### <SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

新型コロナウイルスの感染抑制のために実施したインド全土の封鎖並びに封鎖期間の延長は、将来の経済活動に大きな影響を与えるとみられ、インド企業の収益力が試されています。

今後のインド株式市場の動向は、経済成長率、企業収益、物価上昇率、消費需要などのデータに左右される展開になると見込まれます。直近のインド株式市場は一進一退の展開となっておりますが、インド国内の投資家によるインド株の買い越しに加えて、海外機関投資家の資本が流入に転じれば、中長期的には緩やかながらも戻りを試す展開が想定されます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、対純資産比率で70%前後の組入比率を目標として運用する方針です。

### <SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

新型コロナウイルスによる外出禁止措置などは緩和され、ベトナム国内の経済活動は再開に向けて正常化しつつあるものの、外需や観光産業などの回復には相応の時間を要する見込みです。

しかしながら、ベトナムは賃金水準が相対的に低く、若年層の比率が高い人口動態であることから、製造業などの生産拠点や消費市場として、高いポテンシャルを秘めています。ベトナム株式市場は当面は変動率の高い展開が継続すると見込まれますが、中期的にはベトナム経済のファンダメンタルズ(基礎的条件)改善に伴い、株価は反発基調が継続すると予想されます。

以上の見通しにより、当面は対純資産比率で20%前後の組入比率で運用を行います。必要に応じて、銘柄入れ替えを行いながら運用する方針です。

※上記見通しと運用方針のうち、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」については、それぞれ運用の再委託会社であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッド、LGM・インベストメンツ・リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

## お知らせ

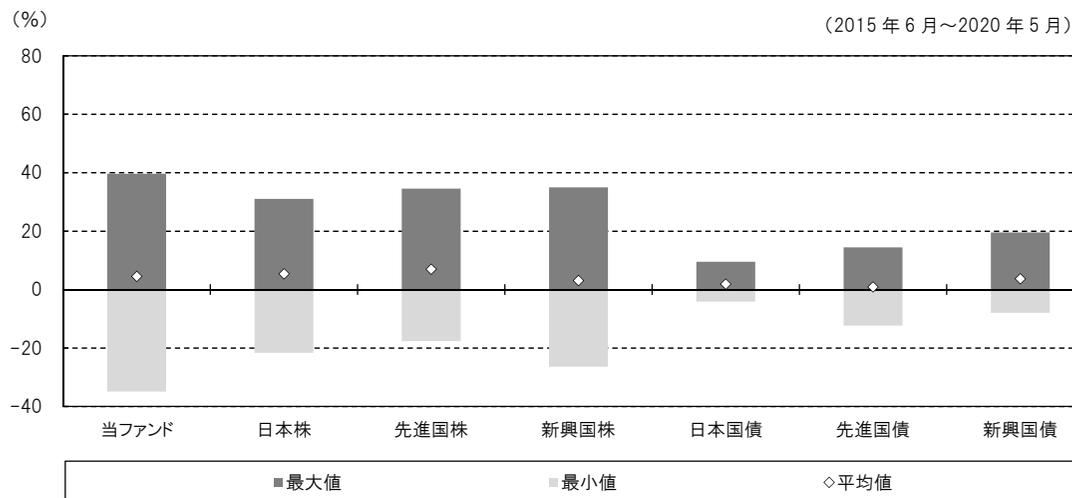
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はあります)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	L G M インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時(毎年6月4日及び12月4日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として分配方針に基づき収益分配を行います。分配対象額は、信託財産に属する配当等収益(配当金、利子及びこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。)とマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当収益」といいます。)及び売買益(評価益を含み、みなし配当収益を控除して得た額)との合計額から諸経費等を控除した金額の範囲とします。委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	39.6	31.0	34.5	35.0	9.5	14.5	19.5
最小値	△ 34.9	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	4.5	5.4	7.0	3.1	1.9	0.9	3.7

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年6月から2020年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式  
 先進国株…Morningstar 先進国株式(除く日本)  
 新興国株…Morningstar 新興国株式  
 日本国債…Morningstar 日本国債  
 先進国債…Morningstar グローバル国債(除く日本)  
 新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年6月4日現在)

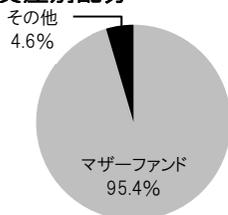
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第26期末
	%
LGM インド株・マザーファンド	31.2
ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド	28.6
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	19.0
SBIAM インド株・マザーファンド	16.7
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

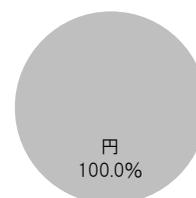
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分はマザーファンドの評価額に対する割合です。

## 純資産等

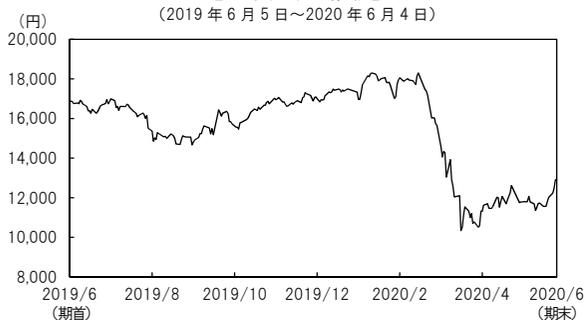
項目	第26期末
	2020年6月4日
純資産総額	6,946,089,706 円
受益権総口数	8,322,679,062 口
1万口当たり基準価額	8,346 円

(注) 期中における追加設定元本額は692,244,570円、同解約元本額は1,143,406,750円です。

## 組入上位ファンドの概要

## ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月5日～2020年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	11 (11)	0.069 (0.069)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.059 (0.059)
(c) その他費用 (保管費用)	28 (25)	0.182 (0.161)
(その他)	(3)	(0.021)
合計	48	0.310

期中の平均基準価額は、15,487円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

## 【組入上位 10 銘柄】

(2020年6月4日現在)

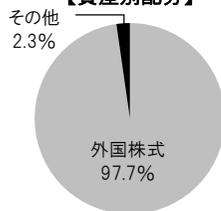
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	8.9
2	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	7.2
3	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	5.8
4	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	インド・ルピー	インド	5.3
5	コルゲート・パルモリーブ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	インド	5.1
6	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.4
7	タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	4.1
8	マルチ・スズキ・インディア	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	3.5
9	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	3.5
10	インドステイト銀行	銀行	インド・ルピー	インド	2.7
	組入銘柄数		49 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



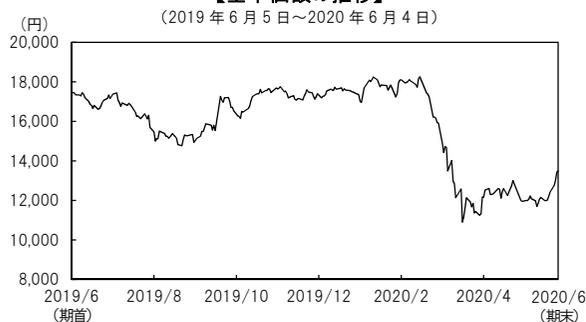
(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2020 年 6 月 4 日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月5日～2020年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4 ( 4)	0.026 ( 0.026)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 ( 7)	0.047 ( 0.047)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	20 ( 20)	0.124 ( 0.124)
合 計	31	0.197

期中の平均基準価額は、15,845円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

## 【組入上位 10 銘柄】

(2020年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	6.4%
2	ネスレ・インド	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	6.3%
3	コタック・マヒンドラ銀行	銀行	インド・ルピー	5.8%
4	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	4.9%
5	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	4.5%
6	ヒンドウスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	4.4%
7	バジャジ・オート	自動車・自動車部品	インド・ルピー	4.4%
8	マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インド・ルピー	4.3%
9	HDFC	銀行	インド・ルピー	4.1%
10	ピディライト・インダストリーズ	素材	インド・ルピー	4.0%
組入銘柄数		31 銘柄		

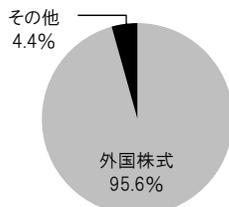
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC 銀行は HDFC のグループ企業です。

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2020 年 6 月 4 日現在のものです。

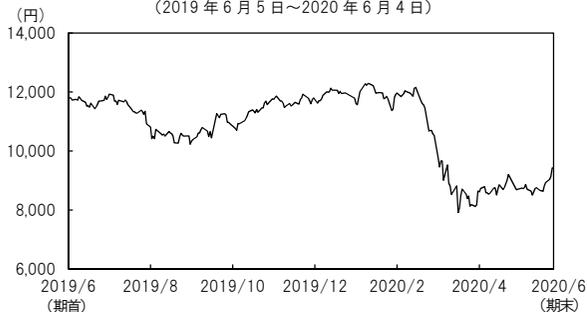
(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】

(2019年6月5日～2020年6月4日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月5日～2020年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	29 (29)	0.265 (0.265)
(b) 有価証券取引税 (株式)	15 (15)	0.136 (0.136)
(c) その他費用 (保管費用)	34 (34)	0.317 (0.317)
合計	78	0.718

期中の平均基準価額は、10,816円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2020年6月4日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	8.9
2	HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	インド	6.5
3	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	6.3
4	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	5.6
5	タタ・コンサルタンシー・サービシズ	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	4.6
6	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.4
7	ITC	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	インド	3.9
8	コタック・マヒンドラ銀行	銀行	インド・ルピー	インド	3.5
9	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	インド・ルピー	インド	3.2
10	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	インド・ルピー	インド	2.4
	組入銘柄数		30銘柄		

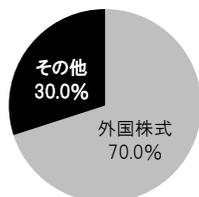
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2020年6月4日現在のものです。

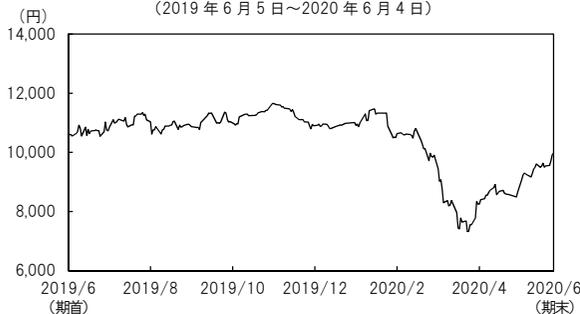
(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式評価額に対する比率です。

## SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)

## 【基準価額の推移】

(2019年6月5日～2020年6月4日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月5日～2020年6月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式会社)	14 (14)	0.137 (0.137)
(b) 有価証券取引税 (株式会社)	2 (2)	0.016 (0.016)
(c) その他費用 (保管費用)	11 (11)	0.110 (0.110)
合計	27	0.263

期中の平均基準価額は、10,329円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

## 【組入上位10銘柄】

(2020年6月4日現在)

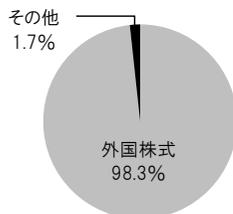
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ベトナム銀行	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	9.5
2	ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	8.7
3	ピンググループ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	8.3
4	ベトナム銀行	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	8.0
5	ベトナムジェットエア	運輸	ベトナム・ドン	ベトナム	7.8
6	ビンホームズ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	6.6
7	サイゴンビール・アルコール	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	6.2
8	ベトナムベトナムガス	公益事業	ベトナム・ドン	ベトナム	5.9
9	ベトナム投資開発銀行	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	5.5
10	ベトナム航空総社	運輸	ベトナム・ドン	ベトナム	5.5
	組入銘柄数		23銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2020年6月4日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分は組入株式総額に対する比率です。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### 〈各指数の概要〉

日本株: Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株: Morningstar 先進国株式(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株: Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債: Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債: Morningstar グローバル国債(除く日本)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債: Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### 〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。